



「さ、ひっくり返そう。」 3

2 年学年主任 藤本賢二

昨年度に続き令和 2 年、元日の新聞に掲載された広告を紹介します。

- ・大逆転は、起こりうる。
- ・わたしは、その言葉を信じない。
- ・どうせ奇跡なんて起こらない。
- ・それでも人々は無責任に言うだろう。
- ・小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。
- ・誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。
- ・今こそ自分を貫くときだ。
- ・しかし、そんな考え方は馬鹿げている。
- ・勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。
- ・わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。
- ・土俵際、もはや絶体絶命。

「ここまで読んでくださったあなたへ。文章を下から上へ、一行ずつ読んでみてください。逆転劇が始まります」

株式会社そごう・西武の正月広告「さ、ひっくり返そう。」は 11 行のメッセージで、そのまま読むとネガティブな文章ですが、一行ずつ逆さに読んでみると、先ほどとは正反対のポジティブな内容に変わります。

今年度のプロ野球リーグ、セントラルリーグ優勝は東京ヤクルト・スワローズ、パシフィックリーグはオリックス・バファローズでした。この両チーム、昨年度はともにリーグ最下位のチームでした。両リーグの優勝チームによる日本シリーズは 4 勝 2 敗でヤクルトが 6 度目の日本一に輝きました。6 戦ともわずかな点差の試合結果で、観る側は面白かったけれど、ファンやチーム関係者、特に選手、スタッフは毎試合、胃に穴が開くようなストレスに見舞われただろうと推察します。日本一となったヤクルトの最下位から優勝への大逆転は、投打にわたり好成績を残したことによるのは間違いないですが、リーグ終盤、優勝へのプレッシャーを感じ精神的に追い詰められる時期があったとき、高津監督がチームに、選手に、ファンにかけた言葉「ぜったい大丈夫」というメッセージも優勝への大きな原動力となったようです。メッセージはシンプルなものですが、「どんなことがあっても大丈夫、心配ないよ」と感じた者は、安心感を持ち、落ち着きを取り戻し、一丸となったチームは日本一まで僅差のゲームを勝ち抜き、最高の結果を残しました。

世界中をあげて逆転しなければならないのは、一昨年から続く「コロナ感染症」・・・自分だけの力では変えられない逆境にあってチームが下を向くか、それとも、前向きに生きるために皆で顔を上げるか。逆境も視点を変えると違った様相に見えます。「コロナのせいで」失った多くのこともあるでしょう。しかし「コロナがあったから」こそ気付いたことも沢山あるはずです。

人類は「ぜったい大丈夫」

今なお続く逆境に負けず、たくましく生きることのヒントにしてほしいと思い 3 年連続の広告紹介とします。

令和4年 2月行事予定

日	曜	行	事
1	火		
2	水	3年登校日①	
3	木		
4	金	推薦入試	
5	土	公務員模試(1・2年)	↑ 進研マーク模試(2年)
6	日	第36回商業経済検定試験	↓
7	月	↑ 朝の読書週間 語の日 校納金引落	
8	火		
9	水	3年登校日②	
10	木	↓ 校内漢字テスト⑪	
11	金	建国記念の日	
12	土	土曜課外⑩(1・2年)	
13	日		
14	月	学年末考査発表 身だしなみ指導(1・2年)	↑ クリーンキャンペーン
15	火		
16	水	就職模試(2年) 3年登校日③ 第3回学校評議員会・学校関係者評価委員会(16:00～) 学校保健委員会(書面開催) 第5回PTA常任委員会(19:00～)	
17	木	校内漢字テスト⑫ ①～⑦限の40分授業 ALT来校 小論文トレーニング②(1年普⑦限)	
18	金	全校集会 第3回人権・同和教育ホームルーム活動(1・2年⑥限)	↓
19	土		
20	日		
21	月	↑ 1・2年学年末考査	
22	火		
23	水	天皇誕生日	
24	木		
25	金	3年登校日④ 大掃除 養正会入会式	
26	土		
27	日		
28	月	↓ 卒業式予行・賞状授与(前日表彰)	

<"有終の美"を飾れるように>

3年生は2月1日から家庭学習期間となります。新しい進路に向けての準備期間として、大学・専門学校・会社等の課題や手続きを確実に完了するのはもちろんのことですが、今こそ自分をじっくり見つめ直す時間にしてほしいと感じます。どの進路においても、これから出会う人々と適切なコミュニケーションをとり、お互いに成長できるような良い人間関係を作っていけるように、自分自身を磨いてください。そのような自覚を、若い希望とともに携えて、3月1日の卒業式に臨んでほしいと願っています。